

およそ10年かけて、新たな緑地が生まれます

山口緑地

人と自然が共生できる
レクリエーションの森の創造

『かつてのごみ処理場を、緑で覆われた緑地に』

昭和40年代後半から埋め立てが始まった旧処理場区域とその後埋め立てが行われた第2処理場区域に、緑に覆われた広大な緑地を造成する計画が立てられています。36ホールのパークゴルフ場や望みの丘、お花見広場などの整備が予定されているほか、小さな苗木を中心に時間をかけて市民参加による森づくりを進めていく計画になっています。



東側の整備イメージ

計画地の東側には、36ホールのパークゴルフ場と展望広場、環境教育を目的とした野草原っぱなどを整備します。

札幌市の史跡となっている手稲山口バツタ塚や既存の林は保全・利用されます。



西側の整備イメージ

計画地の西側には、海からの風などにも耐えられる樹木を外側に植え、内側に将来立派な森となる樹木を植えてレクリエーションの森をつくります。その中には、芝生広場や望みの丘、子どもの遊び場、お花見広場などを整備します。

昨年8月と10月には現地説明会が開催され、計画区域の現況やこれまでの調査についての説明、現在実施している森づくりのための実験施業などについての説明が行われました。

今年度は、引き続き実験施業を行うほか、一部区域の造成に着手し、約10年かけて整備が行われる予定です。

※実験施業とは…より良い植栽条件を探るために、実際の工事に先駆けて試験的に植栽を行い、生育状況などを調べながら本番の緑地づくりに生かす作業のこと。

「人と自然が共生できるレクリエーションの森の創造」を目的に掲げる山口緑地。豊かな自然を感じながら人と人がふれあえる、新たな憩いの場を生み出すための歩みが一步一步進められています。



山口緑地についてのお問い合わせは 環境局みどりの推進部みどりの推進課 ☎211-2522

※旧処理場区域と第2処理場区域は、札幌市環境局清掃事業部の管理地であり、現在手稲山口バツタ塚付近以外は一般に公開されていませんのでご注意ください。